



有明

札幌市立有明小学校
学校便り(特別号)
平成29年(2017年)12月25日

URL <http://www.ariake-e.sapporo-c.ed.jp/>

Tel:011-881-2949 Fax:011-881-9074

全国学力・学習状況調査の結果について

12月15日のアンサンブル発表会・懇談会には、ご多用のなか、ご来校いただきありがとうございました。各学年とも練習の成果を発揮し、工夫を凝らした発表ができました。満足そうな子どもたちの顔を見ていただけたのではないのでしょうか。

さて、4月18日に行われました「全国学力・学習状況調査(6年生対象)」の結果から見えました本校の「課題」と「改善の方向性」をお知らせいたします。今回も、全体的に見ますと、昨年同様、良い結果となりました。細かく見とった際に見えた課題については、学校全体の課題として捉え、今後の指導に生かしていきたいと考えております。また、毎年更新します『学ぶ力』の育成プログラムなどの実践を通して、今後も子どもたちの学力向上のために努めていきます。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきますようお願いいたします。

	今回の調査における課題	改善の方向
国語に関して	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くこと。 ● 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞やリーフレットなど文章の種類や特徴を踏まえ、内容や分量などを考えながら、書く学習活動を充実させることで、自分の考えを明確に伝える文章を書けるように指導していきます。 ○ 様々な話し合いの場面において、司会者や提案者、参加者の役割について学ぶことができるように、話し合いのモデルなどを提示し、実際に役割分担をして話し合う機会を設定します。 ○ また、書いたり話し合ったりする学習は、国語科のみならず、各教科、委員会やクラブ活動とも関連付け、日常生活に生きて働くように多くの場で意図的、計画的に指導していきます。
算数に関して	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。 ● 小数と整数の加法や、乗法の混合した計算をすること。 ● 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断しその判断の理由を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な学習内容を確実に理解させ、さらに、それらを活用して問題を解いていく力を身に付けさせる指導を充実させていきます。 ○ 一人一人が問題の意味を、図や数直線などを使って理解し、学習して身に付けてきた知識や技能を駆使して、自ら解決していくことができるよう指導していきます。 ○ 数量の関係を図などで表現しながら的確に判断し、その理由や問題を解決した過程を数学的に表現し、説明し合います。また、日常生活の中で算数で学んだことを活用できる場面を捉えて問題にするなど、教材を工夫していきます。

【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査にかかわって】

学習状況調査結果から					
	設問番号	質問事項	有明小	全国	差
	肯定的な回答が特に多いもの	(6)	自分には、よいところがあると思いますか。	92.3	53.5
(11)		授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。	100.0	82.8	17.2
(31)		家で、学校の授業の予習をしていますか。	92.3	41.0	51.3
(36)		学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。	84.6	50.3	34.3
(42)		地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。	84.5	42.3	42.2
(47)		外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか。	100.0	70.4	29.6
(54)		「総合的な学習の時間」では、自分で計画を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	100.0	70.7	29.3
(58)		授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	100.0	75.1	24.9
(64)		道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	100.0	78.5	21.5
否定的な回答があるもの		(14)	普段（月曜から金曜）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。 (2時間以上と答えた割合)	23.1	12.0
	(19)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館、学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。 (月に1回以上と答えた割合)	30.8	38.6	-7.8
	(40)	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	46.2	62.6	-16.4
解説	<p>ほとんどの質問で、肯定的な回答が多い結果となりました。特に設問の(6)などからは、学校が楽しく感じられ、自分のよいところを自覚できる自己肯定感が高い児童が多くいることが分かります。その結果、(11)(31)より、学校でも家庭でも、学習に対して意欲的に取り組み、それを生活に生かそうとする児童が多いことにつながっていると感じます。</p> <p>質問(36)(54)(58)(64)より、各教科や総合的な学習、道徳の時間に、「自分たちで課題を見付け学習計画を立て、情報を集めたり実際に試したりし、仲間と力を合わせて解決し、整理して発表する」という「主体的で対話的な深い学び」という新しい学習活動を大切にしてきた成果が表れており、国語、算数ともに「B:主として活用」の調査で全国平均を大きく上回る結果となりました。</p> <p>否定的な回答が多いものはほとんどありませんでしたが、強いて挙げれば、(14)の携帯電話やスマートフォンの使用時間の長さや(19)の図書館の利用回数の少なさ、(40)地域の行事への参加の低さが挙げられます。遠距離のためバスや地下鉄の通学、特色ある活動が多くゆったりと読書の時間を持ってない、地域とのつながりが薄い、など特認校ならではの課題であると感じます。読書活動の推進やネットリテラシー教育などの充実をさらに図っていきたいと考えています。</p>				

本校では、「学ぶ力」育成プログラムを設定するとともに、授業の在り方や教師のかかわりについて考えてまいりました。また、本校ならではの行事や活動を通して子どもたちの「知」「徳」「体」をしっかりと育てるために、ねらいや手だてについても考えてきました。今回、結果が良かったのは、その成果の表れであると同時に、子どもたちの頑張りや、それを支えてくださった保護者の皆様のおかげであると考えております。課題になっている点につきましては、今後も分析と検討を重ね、改善できるよう努力してまいります。ご家庭におかれましても、ご配慮とご協力をいただけますようお願いいたします。